

虚弱な方の風邪薬

しん こう さん

清香散

第2類医薬品
(顆粒)

『清香散の特長』

清香散は漢方治療の古典の一つである「和剂局方」に記載されている香蘇散の処方生薬を一定量エキス化し、その残りの生薬を粉末にして飲みやすい顆粒剤にしたものです。
清香散は日頃、胃が弱くて、神経質タイプの人で「頭が重い」「頭痛がする」「熱がでて寒気がする」などの風邪の初期症状の時に服用してください。

⚠ 使用上の注意



■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

- 1ヵ月位（かぜの初期に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果

体力虚弱で、神経過敏で気分がすぐれず胃腸の弱いものの次の諸症；
かぜの初期、血の道症^{注)}

【効能・効果に関連する注意】

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

用法・用量、成分・分量、保管及び取り扱い上の注意については、裏面をご覧ください。

用法・用量

次の量を食前又は食後に、温湯又は水にて服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人	1包 (2.0g)	3回
15才未満～7才以上	2/3量	
7才未満～4才以上	1/2量	
4才未満～2才以上	1/3量	
2才未満	服用しないこと	

用法・用量に関連する注意

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

3包 (成人の1日服用量) 中

成分	分量	
コウブシ	2.00g	水製エキス 0.70g (香蘇散料エキス)
ソヨウ	1.00g	
チンピ	1.00g	
カンゾウ	0.75g	
ショウキョウ	1.00g	
コウブシ末	1.05g	
ソヨウ末	0.52g	
チンピ末	0.52g	
カンゾウ末	0.39g	
ショウキョウ末	0.52g	

添加物としてデンプンを含有します。

〔注意〕

本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがありますが、効果に変わりありません。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用する場合には、残りは袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

お問い合わせ先

本剤について何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

株式会社和漢薬研究所 お客様相談室

0120 -432 -894

[月～金曜日/10:00～17:00 (祝日を除く)]

製造販売元：株式会社 **和漢薬研究所**

〒371-0101 群馬県 前橋市富士見町赤城山1193